

## 《巻末資料集》

『課題学習方式及びワーキンググループ学習方式において養成する  
能力の定義一覧表』

『課題学習方式及びワーキンググループ学習方式において養成する  
能力別質問シート』



課題学習方式及びワーキンググループ学習方式において養成する能力の定義一覧表（「応用課程の考え方」に基づく）

特性区分		ヒューマンスキル・コンセプチュアルスキル		能力の要件							
能力名	能力の定義	能力名	能力の定義								
課題発見・分析能力	自分たちが置かれている状況の中から、課題（理想的な状態と現実のギャップ）を見つけ出し、これを解決する合理的な方法と手段を自ら見つけ出して提案する能力	課題発見力	状況の中から問題を発見し、抽出し、分析して、課題を形成する能力	課題を発見・抽出できる							
		調査・分析力	課題を解決するために必要な情報を収集し、分析・評価して、合理的な手順や方法を案出する能力	課題解決の条件を整理できる（※）	課題解決に必要な情報を収集できる	収集した情報を分析・整理できる					
		課題解決提案力	課題を解決するために案出した課題解決の手順や方法を適切に評価（評価基準を設定し、状況と比較し、決定する）し、提案する能力	課題解決の方策を発想できる（※）	課題解決策を提案できる						
計画推進力	課題解決の手順や方法を確実に進めるために、計画を立て、計画通りに達成まで導く能力	マネジメント力	課題解決の手順や方法を確実に進めるために、工程・日程・人材・他部門との関係・予算・リスク等の観点からプロジェクトを実行する計画を立て、進捗を調整する能力	他者にプロジェクトの目的（意図）を説明できる	プロジェクトの目標（仕上がり）を説明できる	プロジェクトの目標に到達する計画を立てられる	プロジェクトの進行状況を把握できる	プロジェクトを実行するための段取りができる	プロジェクトの進捗を調整できる	プロジェクトの予算（またはリスク）を管理できる（※）	
		実践力	課題解決の手順や方法を確実に進めるために立てた計画を推進する能力	積極的に行動できる	期限を守れる	自分の役割を果たせる					
		リーダーシップ力	グループのメンバーが目標を共有し役割分担を果たし、フォローし合い、モチベーションを維持できるように環境を整える能力	グループに目的と目標を周知できる	分担作業の振り分けができる	状況を把握できる	グループのモチベーションを維持できる				
組織力	グループメンバーの意見を取りまとめて課題解決に向けた目的や目標および手順や方法について共通の認識を成立させ、各人が与えられた役割を果たし、グループメンバーをフォローし合って、グループのモチベーションを維持できる能力	チームワーク力	グループのメンバーとして目標を共有し、役割分担して、お互いをフォローし、モチベーションを維持する能力	目的と目標を共有できる	他者をフォローできる	グループワークに参加できる					
		コミュニケーション・調整力	グループのメンバーとして、グループ内外に情報を伝達し、意見を調整して合意形成を図る能力	他者に対応できる	自分の考えを相手に伝えられる	他者の考えを受容できる	意見の対立を整理できる	意見の妥協点を見い出せる	意見をまとめられる		
		プレゼンテーション力	場面の状況に応じて、説明内容を決定し、わかりやすく説明する計画を立てて、実践できる能力	プレゼンテーションを計画できる	プレゼンテーション資料や文書を作成できる	プレゼンテーションを実践できる					

課題学習方式及びワーキンググループ学習方式において養成する能力別質問シート

科

実施校:

検証標準課題:

実施年月日:

氏名:

※下記の質問項目は、「～」が「1 ～ 5」の区分で記述された内容から、もっともそうだと思う回答番号を一つだけ選んで回答欄に記入して下さい。

大区分	評価する能力要件	番号	質問項目	1	2	3	4	5
課題発見・分析能力	課題発見力	1	問題を身につけられる(構造的課題や会議、あなたに与えられた課題などを通じて、よく考えるための方法や質問、あるいは問いを通して進まないなどの問題に気づき、それを解決するための原因となるもの(=課題)を見つけられる)	問題に気づくことができる	問題の原因を想像できる	問題を克服するために取り除くべき原因(=課題)を見つけている	課題を解決するための時間的・物理的制約を整理できる	課題の重要度に応じて優先順位をつけることができる
		2	課題解決に必要な情報を収集できる	情報収集の手段を選択できる	情報を探ることができる	情報を収集できる	適切な手段を用いて効率的に情報収集できる	収集した情報を系統的に整理できる
		3	収集した情報を分析できる	収集した情報と解決すべき課題を関連付けることができる	解決すべき課題ごとに情報を取捨選択し、整理できる	情報を分析し、課題解決のいくつかの方策を得ることができる	得られた方策からどのような結果を得られるかを推察できる	最善の課題解決策を決定できる
		4	課題解決策を提案できる	課題解決策を提案する意思を持つことができる	課題解決策をリーダー・メンバーなどの関係者に伝えることができる	課題解決策を会議など大勢が議論している場で提案できる	課題解決策を説明資料を用意するなど分かりやすく提案できる	他者の意見をとり入れ、よりよい課題解決策を再提案できる
計画推進能力	マネジメント力	1	他者にプロジェクトの目的(意図)を説明できる(構造的課題やあなたに与えられたレポートについて他の人の協力を得るなど、その意図を他の人に説明しなければならぬ場面を想定してください。また目的には、例えば単発を期待するというような表面的な目的とある能力を獲得するためというような本質的な目的などいくつかの目的が想定されます)	漠然とした目的(意図)を把握できる	いくつかの状況や条件に応じたプロジェクトの目的(意図)を説明できる	プロジェクトの目的(意図)を説明できる	プロジェクトの表面的あるいは本質的な目的(意図)を整理して説明できる	プロジェクトの目的(意図)を説明する対象や場面に応じて効果的に説明できる
		2	プロジェクトの目標(仕上がり)を説明できる	目標(仕上がり)をイメージできる	目標(仕上がり)のいくつかの項目を説明できる	目標(仕上がり)のすべての項目を一言説明できる	目標(仕上がり)のすべての項目をわかりやすく説明できる	目標(仕上がり)をプロジェクトの目的(意図)と結びつけて説明できる
		3	プロジェクトの全体計画を立てられる	プロジェクト全体の流れをイメージできる	おおまかに計画できる	関係者それぞれが、それぞれの場面ですべきことが明確になるように計画できる	構想や進行状況、各人の負担などの構想を加味した計画を立てることができる	構案に目標に到達できる計画を立てることができる
		4	プロジェクトの進行状況を説明できる	自分の分担の進行状況を説明できる	自分以外のプロジェクトのメンバーの進行状況を部分的に説明できる	プロジェクト全体の進行状況を説明できる	プロジェクトの進行状況を説明(要因別)に説明できる	プロジェクトの進行状況を経緯と見込みも含めて説明できる
		5	プロジェクトの各工程に必要な事前準備ができる(機器的組み立てのための部品や工具を揃えたり、会議のために論点を整理して資料を用意するなど)	事前に準備をする気持ちを持つことができる	事前に準備すべきモトをあげることができる	事前に準備すべきモトをあげることができる	計画的に効率よく事前準備ができる	他者や周囲の環境に配慮した事前準備ができる
		6	プロジェクトの進捗を調整できる	プロジェクト全体の計画を把握できる	プロジェクトの各分担ごとの進捗状況を計画と比較できる	プロジェクトの進捗を把握できる	プロジェクトの進捗の遅れに対して遅れを取り戻す対策を講ずることができる	プロジェクトの進捗の遅れの発生を予想して遅れない対策ができる
実践力	実践力	1	積極的に行動できる	求めに応じて行動できる	グループのメンバーにならって行動することができる	自ら積極的に行動できる	自ら責任感を持って行動できる	他者や周囲を巻き込みながら行動できる
		2	期限を守る	期限を守る気持ちを持つことができる	指示されれば期限を守ることができる	短期間あるいは余裕のある期限であれば自ら期限を守ることができる(計画的である必要はあまりない)	短期間や厳しい条件でも期限を守る行動に行動して期限を守る行動ができる	長期間や厳しい条件でも期限を守る行動に行動して期限を守る行動ができる(計画的な作業などが必要な場合がある)
		3	自分の役割を果たせる	自分の役割を把握できる	自分の役割を果たすことができる	与えられた役割をひととおり果たすことができる	責任感を持って役割を果たすことができる	よりよい成果が得られるよう積極的に役割を果たすことができる
14		1	グループに目的と目標を周知する(構造的課題やあなたに与えられたレポートについて他の人に説明しなければならぬ場面を想定してください。また目的には、例えば単発を期待するというような表面的な目的とある能力を獲得するためというような本質的な目的などいくつかの目的が想定されます)	グループに目的と目標を周知する気持ちを持つことができる	プロジェクト全体と各工程の目的と目標を周知に把握できる	グループに目的と目標を周知できる	状況に応じてグループの目的と目標の周知の程度を把握できる	グループメンバーの状態に応じて目的と目標を周知できる

15	リーダーシップ力	2 分担作業を割り振れる	作業を分担する意識を持つことができる	メンバーの作業状況を把握する意識を持っている	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	作業の補完を考慮して分担作業を振り分けができる
16		3 メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握する意識を持っている	メンバーの作業状況を把握する意識を持っている	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	メンバーの作業状況を把握できる	状況に応じたフォローを指示できる
17		4 グループのモチベーションを維持できる	メンバーのモチベーションを維持する意識を持つことができる	メンバーのモチベーションを維持する意識を持つことができる	グループのモチベーションを維持できる	グループのモチベーションを維持できる	グループのモチベーションを維持できる	グループのモチベーションを維持できる	グループのモチベーションを維持できる	グループのモチベーションを維持できる	グループメンバーの成果や貢献への評価と結びつけてモチベーションを維持できる
18		1 目的と目標を共有できる	目的と目標を個人的に理解できる	目的と目標を個人的に理解できる	目的と目標を共有できる	目的と目標を共有できる	目的と目標を共有できる	目的と目標を共有できる	目的と目標を共有できる	目的と目標を共有できる	目的と目標を忘れていないメンバーに思い出させることができる
19	チームワーク力	2 他者をフォローできる	指示されれば他者をフォローできる	指示されれば他者をフォローできる	他者をフォローできる	他者をフォローできる	他者をフォローできる	他者をフォローできる	他者をフォローできる	他者をフォローできる	対象者の状況に応じて最も効果的なフォローができる
20		3 グループワークに参加できる	指示されればグループワークに参加できる	指示されればグループワークに参加できる	グループワークに参加できる	グループワークに参加できる	グループワークに参加できる	グループワークに参加できる	グループワークに参加できる	グループワークに参加できる	主体的にグループワークに参加できる
21		1 他者と対応できる(2名以上の相手と意見交換する場面を想定してください)	特定の相手とであれば対応できる	特定の相手とであれば対応できる	他者と対応できる	他者と対応できる	他者と対応できる	他者と対応できる	他者と対応できる	他者と対応できる	不愉快な相手とでも対応できる
22		2 自分の考えを相手に伝えられる	特定の相手には自分の考えを伝えることができる	特定の相手には自分の考えを伝えることができる	自分の考えを相手に伝えられる	自分の考えを相手に伝えられる	自分の考えを相手に伝えられる	自分の考えを相手に伝えられる	自分の考えを相手に伝えられる	自分の考えを相手に伝えられる	他者が理解しやすいように整理を交えながら自分の考えを伝えることができる
23	コミュニケーション・調整力	3 他者の考えを察知できる	他者の考えを聞き出す意識を持つことができる	他者の考えを聞き出す意識を持つことができる	他者の考えを察知できる	他者の考えを察知できる	他者の考えを察知できる	他者の考えを察知できる	他者の考えを察知できる	他者の考えを察知できる	他者の考えを取り込み、さらに発展した考えを再構築できる
24		4 意見の対立を整理できる	意見の対立に気づくことができる	意見の対立に気づくことができる	意見の対立を整理できる	意見の対立を整理できる	意見の対立を整理できる	意見の対立を整理できる	意見の対立を整理できる	意見の対立を整理できる	対立する意見を解決する要点を整理できる
25		5 意見の妥協点を思い出せる	意見の妥協点を思い出す意識を持つことができる	意見の妥協点を思い出す意識を持つことができる	意見の妥協点を思い出せる	意見の妥協点を思い出せる	意見の妥協点を思い出せる	意見の妥協点を思い出せる	意見の妥協点を思い出せる	意見の妥協点を思い出せる	双方の立場に加え、目的・目標に沿った最適な妥協点を見出すことができる
26		6 意見をまとめられる	意見をまとめめる意識を持つことができる	意見をまとめめる意識を持つことができる	意見をまとめられる	意見をまとめられる	意見をまとめられる	意見をまとめられる	意見をまとめられる	意見をまとめられる	双方の立場を加えて、目的・目標に合わせて最適に意見をまとめることができる
27		1 プレゼンテーションの流れを作れる(あなたが準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場合の場面を想定してください)	自分がおこなうプレゼンテーションの内容を想像できる	自分がおこなうプレゼンテーションの内容を想像できる	プレゼンテーションの流れを作れる	プレゼンテーションの流れを作れる	プレゼンテーションの流れを作れる	プレゼンテーションの流れを作れる	プレゼンテーションの流れを作れる	プレゼンテーションの流れを作れる	一貫性があり、理解しやすいプレゼンテーションの流れを作ることができる
28	プレゼンテーション力	2 プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	適切なツールでプレゼンテーションの資料や文書を作成できる	適切なツールでプレゼンテーションの資料や文書を作成できる	プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	プレゼンテーションの資料や文書を作成できる	統一感を持たせるために工夫したプレゼンテーション資料や文書を作成できる
29		3 準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	聴取者に配慮したプレゼンテーションをおこなう意識を持つことができる	聴取者に配慮したプレゼンテーションをおこなう意識を持つことができる	準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	準備課題の発表など複数の人にプレゼンテーションをおこなう場面を想定してください)	聴取者の興味をひき、意見や感想を述べたくくなるようなプレゼンテーションを構築できる
備考											

調査研究資料 No.120

応用課程モデル教材の開発と訓練効果の研究

- 標準課題実習におけるヒューマンスキル・コンセプチュアルスキル等の調査・分析 -

---

発行 2007年3月  
編集・発行人 職業能力開発総合大学校 職業能力開発研究センター  
所長 緒方 悟  
〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4-1-1  
TEL(042)763-9046(普及促進室)  
印刷 有限会社 幸陽  
〒229-0014 神奈川県相模原市若松1-23-11  
TEL(042)767-4450

---

ISSN 1340-2404

調査研究資料 No.120  
2007

**THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT  
POLYTECHNIC UNIVERSITY**